

モニタリング結果報告書

施設 聴覚障害者福祉センター

指定管理者 社会福祉法人神奈川聴覚障害者総合福祉協会

施設所管課 障害福祉課

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

提案どおりに着実に取組みを実施し、聴覚障害者の社会参加促進につながった。提案内容の大部分は、障害者自立支援法に定められた地域生活支援事業のうち県が行うべきものとされた事業であり、指定管理者独自に提案を上回る取組みを実施する余地が少ないことからB判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11.8	11.14	○	×	×	なし	
11月	12.8	12.10	○	×	×	なし	
12月	1.8	1.10	○	×	×	なし	
1月	2.8	2.10	○	×	×	なし	
2月	3.8	3.9	○	×	×	なし	
3月	4.9	4.10	○	×	×	なし	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載してください。

<提案内容の概要>

聴覚障害に関する各種相談を行う。

<実施状況>

失聴・難聴者相談を行うとともに、耳鼻科医師による医療相談を行った。また、電話・ファックス・電子メール等による相談も行った。相談件数は年間 3,103 件（来所 2,790 件、電話等 313 件）であつ

た。

<提案内容の概要>

聴覚障害者の日常生活に必要な情報の提供を行う。

<実施状況>

自主企画作品や講演記録などの制作を行うとともに、字幕ビデオライブラリー共同事業により頒布された字幕入りビデオテープ等を、聴覚障害者や手話学習者等を対象に館外貸し出しを行った。

また、インターネットにより自主制作番組の手話動画配信を行った。(新作ビデオ 170 本、字幕ビデオライブラリー共同事業作品 169 本、寄贈・購入ビデオ 27 本。平成 23 年度末保有本数 3,684 本。利用本数年間 2,151 本、利用者数 1,046 人 6 団体)

<提案内容の概要>

聴覚障害乳幼児及び成人聴覚障害者を対象としたコミュニケーション教室を実施する。

<実施状況>

聴覚障害乳幼児とその家族を対象に、聴能・言語及びコミュニケーションについての指導を実施した。原則として週 1 回同年齢でのグループ指導を行い、外部講師による指導助言を年 11 回行った。

また、聴覚障害者を対象に、個人又はグループによる手話・読話及び言語指導を行った。(年間 70 回、延べ 381 人)

<提案内容の概要>

手話通訳及び要約筆記者は、聴覚障害者の情報保障及びコミュニケーション支援として重要なものであり、それらを担う人材を養成する。

<実施状況>

手話通訳者及び要約筆記者の養成講習会を行い、修了者に対して認定試験等により一定のレベルに達したと認められる者を年度末に登録した。(手話通訳者認定試験：受験者数 41 人、合格者数 19 人、認定者数 19 人。要約筆記者終了認定：手書き 15 人、パソコン 21 人。登録者数 手書き 14 人、パソコン 21 人。

登録者総数：手話通訳者 155 人、要約筆記者 146 人(手書きのみ 68 人、パソコンのみ 42 人、手書き・パソコン共通 36 人)

<提案内容の概要>

手話通訳者及び要約筆記者の派遣を行う。

<実施状況>

年間を通じ手話通訳者及び要約筆記者の派遣を行った。(手話通訳者 282 件 617 人、要約筆記者 152 件 544 人)

<提案内容の概要>

聴覚障害者団体や聴覚障害者関係団体等の部屋利用をはじめ、地域の民生委員やボランティアグループ及び手話サークル等の施設見学、福祉関係の学校からの施設実習生の受入れを行う。また、地域住民との交流により聴覚障害に関する理解を促進する。

<実施状況>

部屋利用 706 件 10,592 人。施設見学 242 人。実習生研修生受入れ 3 人(神奈川県立平塚ろう学校・日本福祉教育専門学校・世田谷福祉専門学校)。(全て年間)

また、聴覚障害者に係わる情報発信及び関係団体・地域住民等との交流を目的として、平成 23 年 10 月 30 日(日)に「聴障センターまつり」を開催した。(来場者数 397 人)

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額						
今期 (前期)	150,408 (147,377)	150,408 (147,377)	()	()	150,408 (147,377)	0 (0)
下半期 予算額	75,204	75,204			76,549	△1,345
10月	12,128	12,128			10,450	1,678
11月	11,151	11,151			11,693	△542
12月	19,851	19,851			18,976	875
1月	11,200	11,200			11,600	△400
2月	11,224	11,224			10,160	1,064
3月	11,864	11,864			14,989	△3,125
今年度 半期計	77,418	77,418			77,868	△450
前年度 同期計	76,126	76,126			76,549	△423

- 1 指定管理者の収入を記載してください（県の収入である「使用料」は含みません。）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載してください。

収支状況に関する意見等

- ① 年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載してください。
- ② 今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載してください。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載してください。
- ③ 今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比 30%以上プラス又はマイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載してください。

<意見等>

- ① 該当なし
- ② 該当なし
- ③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

200,000円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載してください。
- 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載してください。
- 修繕等の一覧がある場合は、参考にご提供くださるようお願いします。

※千円未満切り上げ

	金額	工事箇所・内容
上半期	785千円	非常用自家発電装置修繕（536千円） 男性用トイレ漏水修繕（249千円）
下半期		
総額	785千円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載してください。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載してください。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載してください。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	2,432人	1,965人	23.8%
11月	1,732人	1,914人	△9.5%
12月	1,267人	1,210人	4.7%
1月	1,602人	1,942人	△17.5%
2月	1,830人	1,619人	13.0%
3月	1,486人	1,524人	△2.5%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	一人	10,771人	9,733人	—%	10.7%
今年度下半期計	一人	10,349人	10,174人	—%	1.7%

利用状況に関する意見等

- ① 今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載してください(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載してください)。
- ② 目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載してください。
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ませんが、次回以降は記入してください。

<意見等>

聴覚障害者団体・聴覚障害者関係団体が会議等を行う際に部屋を貸し出しており、その日程により利用者数が異なってくる。

なお、一部事業(検査・相談)の性質上、目標利用者数を定めていない。

6 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分)

該当なし

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	()	()	()	()	()	()

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載してください。

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載してください。

なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出してください。

該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載してください。 〕

該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載してください。 〕

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画に基づき事業を実施した。 ・ 要約筆記者養成については、平成 24 年度から国が定めた新カリキュラムで行う予定であるため、関係機関・団体等との調整を行い、準備に努めた。 ・ 施設の管理については、十分な注意をもって行った。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画に基づき着実に事業が行われている。 ・ 今後も引続き利用者サービス向上に努めていただきたい。 ・ 要約筆記者養成については、十分な準備をされており、平成 24 年度からの新カリキュラムにスムーズに対応可能と認識している。 ・ 施設の管理についても引き続き良好に努めていただきたい。